

## 両親の静かな戦い

成羽中学校 三年 日田 杷牙 ひだ さらさ

毎夜の私の両親の戦い。それはお風呂である。父と母の静かなる格闘が今夜も始まった。

私はどちらの味方にもつかず見て見ぬふりをする。いつもの母のささやかな作戦が功を奏し、父はまんまと母の思い通りの行動をとり母の作戦は見事に成功する。

母の希望。それは「母より先にお風呂に入っ  
て欲しい。」だ。母は、お風呂上りにお風呂の栓  
を抜き、お湯を流しながら浴そうの壁や洗面器  
を洗い、換気扇をつけ、次の日の家事を少しで  
も減らすよう工夫したいのだ。それも母のやり  
方があり、シャンプーのボトルの底がヌルヌル  
しない様、毎回スポンジで洗い、シャワーのヘ  
ッドを置く位置まで決まっており、毎日清潔に  
することを心がけている母の真似は誰にもでき  
ないのだ。

しかし、お風呂でさっぱりした後、お風呂

そうじでまた汗びっしょりになる母をみて私は、  
「最後に入った人がそうじする様にしたらいい  
のに。」

と提案してみた。すると母は、

「最後がお父さんだったら大変。お父さんは浴  
槽の底を丸く洗う人だから。あ、これは悪口  
じゃないからね。そこがお父さんのいい所  
でもあるし。」

と、わけのわからないことを言って笑った。

「どこがいい所なんだろう。単に雑ってことだ  
よね。」

と私は思った。

母の作戦とは、小さなメモをテレビのリモコ  
ンに貼っておくことだ。ここには父の行動をよ  
く知る母の作戦の一つがある。仕事から帰った  
父が一番に手にとるのがテレビのリモコンであ  
り、それに貼ったメモを必ず目にするという母  
のよみである。冷蔵庫の扉でも、玄関でもダメ、  
リモコンにメモを貼るといふ母の作戦がささや  
かではあるが的中パーセントである。

そのメモには父がするべきことが具体的に書

かれている。

「①夜ご飯は冷蔵庫の中にセットしてあります。

②メインはフライパンの中にあるのでレンジでチンしてください。

③二十時までにお風呂をでておいってください。」

①②で仕事で疲れた父のやる気が少しでも出る様、おかずやお皿、はしなどをセットしたトレーごと冷蔵庫に入れ、父の負担を減らすための工夫がされている。

母の本命は③の指示である。父が食後、うとうと居眠りをしない様にお風呂を出る時間を明確に示している。

二十時に母と私が帰宅すると、ちょうどお風呂から出たばかりの父が、

「お帰り」

と言って出迎えてくれる。

「よしよし。今日も作戦通り。任務完了。」

とにやにや笑う母の小さな声がきこえてきた。

順調に進んでいた作戦だがある日帰宅すると部屋から怪獣のような声に似たいびきがきこえ

てきた。しかもお風呂は母が前日洗ったまま、父が入浴した形跡はない。

「どうしたの!？」

と母はびっくりして熟睡している父にかけ寄ると父はゆっくり目を覚まし、

「よく寝た!!」

と気持ち良さそうにのびをした。

この日の作戦は失敗に終わったが母は、父が体調を悪くして入浴できていないのかと心配した様子だったが私は、

「あんなゴジラがほえる様ないびきをかいていたんだから、ただ眠かっただけじゃないの。」と心の中で思ったが黙っていた。

父はいたって元気であることを確認した母は作戦失敗よりも安堵の気持ちの方が大きく、

「疲れていたなら寝るのもしょうがない。もしかしたらメモの内容が毎回同じだから飽きてきたんだな。次から工夫しよう。」

と考えをめぐらせているようだった。

母の気持ちの切り替えの早さと父のまじめで自由な性格でお互いにゆずり合っている様に感

じた。

二人の静かな戦いに私は全く巻き込まれていないが母の作戦に父がまんまとはまり誰も傷付くことなく、嫌な思いもせず気付けば夫婦二人で協力し合って翌日の母の家事を減らすことに成功している。母の機嫌が良いことが私の両親の夫婦仲の秘訣である。

今夜も母の工夫されたメモで平和な一日が終わるのである。